

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 2 部門第 5 区分

【発行日】令和 4 年 7 月 5 日(2022.7.5)

【国際公開番号】WO2020/007656

【公表番号】特表 2021-529130(P2021-529130A)

【公表日】令和 3 年 10 月 28 日(2021.10.28)

【出願番号】特願 2021-500067(P2021-500067)

【国際特許分類】

B 6 0 R 9/05(2006.01)

10

【F I】

B 6 0 R 9/05

【手続補正書】

【提出日】令和 4 年 6 月 24 日(2022.6.24)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

20

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

ルーフラック荷重支持バー(100)であって、

前記ルーフラック荷重支持バー(100)の長さ方向(L)に延在する空気流調整パターン(400)であって、前記空気流調整パターン(400)が、前記ルーフラック荷重支持バー(100)の前記長さ方向(L)において相互から相対的にオフセットされた少なくとも 2 つの突起リブ部分(401、402)を備え、2 つの隣接し合う突起リブ部分(401、402)が、前記ルーフラック荷重支持バー(100)の前記長さ方向(L)において離間距離(L1)だけ分離され、前記ルーフラック荷重支持バー(100)が、前記ルーフラック荷重支持バー(100)に荷重支持バー付属品を装着するための少なくとも 1 つの取付け部材(10)を受けるためのチャンネル(101)であって、前記チャンネル(101)は、前記ルーフラック荷重支持バー(100)の前記長さ方向(L)に少なくとも部分的に延在する、チャンネル(101)をさらに備え、前記空気流調整パターン(400)が、使用中における前記ルーフラック荷重支持バーの進行方向(T)に関して前記チャンネル(101)の前方に少なくとも部分的に位置する、空気流調整パターン(400)を備えるルーフラック荷重支持バー(100)において、

30

前記少なくとも 2 つの突起リブ部分(401、402)のそれぞれが、前記進行方向(T)に対して斜めに配置され、前記ルーフラック荷重支持バー(100)の前記長さ方向(L)において測定される部分幅(d1)をさらに有し、前記離間距離(L1)が、前記隣接し合う突起リブ部分(401、402)の少なくとも一方の前記部分幅(d1)よりも少なくとも 2 倍大きいことを特徴とする、ルーフラック荷重支持バー(100)。

40

【請求項 2】

前記空気流調整パターン(400)は、前記長さ方向(L)において荷重支持バー長さ(L10)の少なくとも 80% にわたり延在する、請求項 1 に記載のルーフラック荷重支持バー(100)。

【請求項 3】

前記空気流調整パターン(400)は、好ましくは少なくとも 10 個、15 個、20 個、25 個、30 個、35 個、40 個の突起リブ部分(401、402)を有する、前記長さ方向(L)に連続する反復パターンである、請求項 1 または 2 に記載のルーフラック荷重支持バー(100)。

50

【請求項 4】

前記少なくとも 2 つの突起リブ部分 (4 0 6、4 0 7、4 0 8、4 0 9、4 1 0、4 1 1) のうちの少なくとも 1 つが、V 字形状リブ部分であり、前記 V 字形状の先端部が、前記進行方向 (T) を向く、請求項 1 から 3 のいずれか一項に記載のルーフラック荷重支持バー (1 0 0)。

【請求項 5】

前記ルーフラック荷重支持バー (1 0 0) は、外部環境から前記チャンネル (1 0 1) を封止するために、前記長さ方向 (L) に延在する少なくとも 1 つの第 1 のカバー (2 0 0) をさらに備え、前記空気流調整パターン (4 0 0) は、前記第 1 のカバー (2 0 0) 上に位置する、請求項 1 から 4 のいずれか一項に記載のルーフラック荷重支持バー (1 0 0)

10

【請求項 6】

前記隣接し合う突起リブ部分のうちの少なくとも一方の前記部分幅 (d 1) は、0 . 5 ミリメートル (mm) ~ 3 ミリメートル (mm) であり、好ましくは 0 . 7 mm ~ 2 . 5 mm であり、より好ましくは 0 . 7 mm ~ 2 mm であり、例えば 0 . 8 mm ~ 1 . 2 mm である、請求項 1 から 5 のいずれか一項に記載のルーフラック荷重支持バー (1 0 0)。

【請求項 7】

前記少なくとも 2 つのリブ部分 (4 0 1、4 0 2) の少なくとも 1 つが、0 . 3 mm ~ 2 mm の、好ましくは 0 . 5 mm ~ 2 mm の、例えば 0 . 5 mm ~ 1 mm のリブ高さを有する、請求項 1 から 6 のいずれか一項に記載のルーフラック荷重支持バー (1 0 0)。

20

【請求項 8】

前記少なくとも 2 つの突起リブ部分 (4 0 1、4 0 2) の少なくとも 1 つが、前記少なくとも 1 つのリブ部分 (4 0 1、4 0 2) が上に配置された表面 (2 1 4) と前記リブ部分の側壁部 (4 0 3) との間に、少なくとも 9 0 度であり、例えば 9 0 度 ~ 1 2 0 度または 9 0 度 ~ 1 4 0 度である角度 (1) を有する明確な突起リブ部分として構成される、請求項 1 から 7 のいずれか一項に記載のルーフラック荷重支持バー (1 0 0)。

30

40

50